

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年 6月 1日	
神戸市長宛	
提出者 住所 神戸市兵庫区和田山通2丁目1番18号 氏名 川崎車両株式会社 代表取締役 村生 弘 電話番号 078-682-3078	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	川崎車両株式会社
事業場の所在地	神戸市兵庫区和田山通2丁目1番18号
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3121 鉄道車両製造業
②事業の規模	売上高 131,900 百万円
③従業員数	3,000人

(第2面)

廃棄物	収集・運搬	中間処理	最終処理
木屑	委託	破砕 選別	ボイラーの助燃材 パーティクルボード原料 製紙原料
生木	委託	破砕	堆肥化
混合廃棄物 (木くず、紙くず、 廃プラ、金属等混載)	委託	破砕 選別	ガス化改質燃料化 チップ化、鉄鋼原料、メタル 製紙原料
廃プラスチック	委託	破砕 選別	ガス化改質燃料化 再生樹脂原料
鋸ざい	委託	破砕 選別	再生路盤材 建築資材の増量材
汚泥	委託	破砕、凝集沈殿 溶融	セメント原料、溶融後路盤材 コンクリート二次製品
廃油	委託	混練、精製 油水分離	発電ボイラー用助燃材 再生燃料
廃酸	委託	中和	冷却用水 残渣⇒セメント原料
廃アルカリ	委託	中和	冷却用水 残渣⇒セメント原料
乾電池	委託	焙焼 破砕	水銀 製鋼原料、地金原料
蛍光灯	委託	破砕	蛍光粉、地金原料 ガラスカレット、水銀
電気機械器具	委託	解体 破砕	製鋼原料、プラスチック原料 レアメタル原料
コンクリートがら・陶磁器類 (鉄系土砂)	委託	混練	ガス化改質燃料化
コンクリートがら・陶磁器類	委託	破砕	路盤材、増量材
ガラス・ビン類	委託	破砕	ガラス原料
ペットボトル	委託	破砕	繊維原料 燃原料
金属屑(鉄系土砂)	委託	選別・破砕 混練	非鉄原料・製鋼原料 ガス化改質燃料化
金属屑(ベン缶等)	委託	選別・破砕	非鉄原料、製鋼原料
金属屑(空缶)	委託	圧縮	非鉄原料、製鋼原料
スクラップ	委託	選別・破砕	非鉄原料、製鋼原料
可燃ごみ	委託	焼却	焼却熱による発電、残渣埋立
段ボール 古紙	委託	圧縮	製紙原料

④産業廃棄物の一連
の処理の工程

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1に示す。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2	別紙2
	排出量	別紙2	別紙2
	(これまでに実施した取組) 工程時の仕損じ・手直しの減少に伴う廃棄物の発生抑制。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2	別紙2
	排出量	別紙2	別紙2
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、仕損じ・手直しの低減を進める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄品目ごとに回収容器を各現場に設置し、分別回収を行っている。 ・定期的にパトロール巡回し、分別徹底を維持・管理している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みを継続する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) 該当なし。(自ら廃棄物の再生利用は行っていない。)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。(自ら廃棄物の再生利用は行っていない。)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2	別紙2
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙2	別紙2
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙2	別紙2
	(これまでに実施した取組) 製造工程で発生した排水の凝集・沈殿・脱水処理により汚泥をケーキ状で廃棄し、処理後の上水は放流することで廃棄物の減量を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2	別紙2
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙2	別紙2
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙2	別紙2
	(今後実施する予定の取組) 現状の取り組みを継続する。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) 該当なし。(自ら埋立処分及び海洋処分は行っていない。)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。(自ら埋立処分及び海洋処分は行っていない。)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2	別紙2
	全処理委託量	別紙2	別紙2
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2	別紙2
	再生利用業者への処理委託量	別紙2	別紙2
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2	別紙2
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2	別紙2
	(これまでに実施した取組) ・川崎重工業グループ全体でゼロエミッション活動を行っており、排出する廃棄物の100%リサイクル化を推進している。 ・処理委託業者に対して定期的に現地確認を行い、適正な処理がなされているか確認している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2	別紙2
	全処理委託量	別紙2	別紙2
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙2	別紙2
	再生利用業者への 処理委託量	別紙2	別紙2
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙2	別紙2
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙2	別紙2
	(今後実施する予定の取組) 現状の取り組みを継続する。		
※事務処理欄			

(第7面)

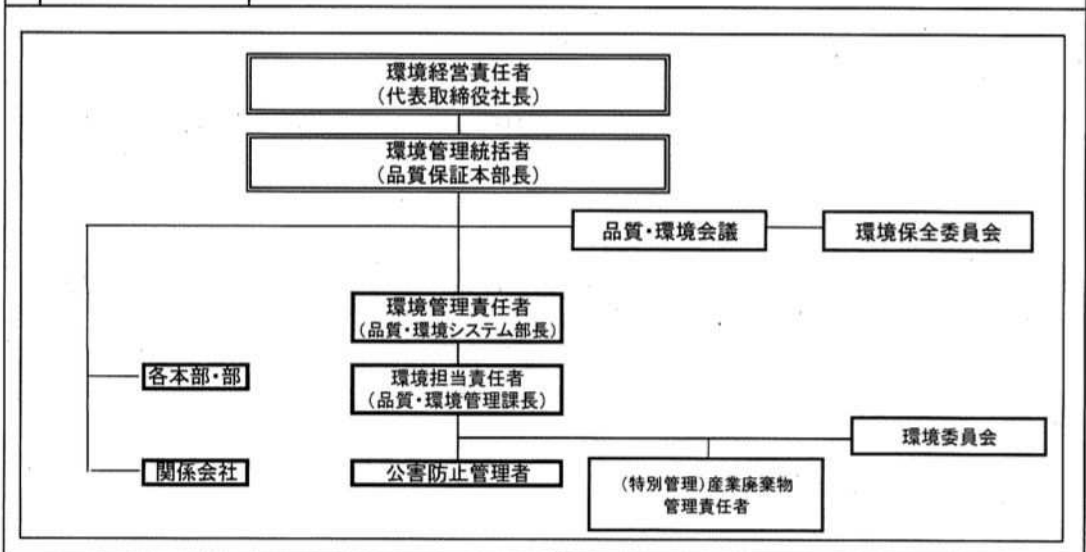
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 管理体制に関する事項

(1)責任者及び管理組織図

統括責任者	代表取締役社長
環境管理統括者	品質保証本部長
会議・組織の役割	<p>品質・環境会議</p> <p>(位置付け) 品質及び環境管理における社内で最高の審議体。</p> <p>(役割) 方針・目標等についての審議を行う。</p> <p>議長 : 品質保証本部長 事務局 : 品質保証本部 品質・環境システム部</p>
	<p>環境保全委員会</p> <p>(位置付け) 会社側と労働組合との協議機関で、環境保全に関する施策を適正かつ積極的に推進するための機関。</p> <p>(役割) 会社側から労働組合へ環境に関する報告を行うと共に、目標達成に向けた施策の協議を行う。</p> <p>議長 : 品質保証本部長 事務局 : 品質保証本部 品質・環境システム部</p>
	<p>省エネ・廃棄物削減委員</p> <p>(位置付け) 環境に関する実務レベルの協議を行う組織。</p> <p>(役割) 廃棄物の削減・分別等を含む事務局からの依頼事項を、各部門内へ展開する。 各部門から事務局へボトムアップ活動を行う。</p> <p>議長 : 品質保証本部 品質・環境システム部 品質・環境管理課長 事務局 : 品質保証本部 品質・環境システム部 品質・環境管理課</p>
責任者の役割	<p>環境管理責任者</p> <p>管理責任者: 品質保証本部 品質・環境システム部長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理方針の策定 ・工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	<p>環境担当責任者</p> <p>担当責任者: 品質保証本部 品質・環境システム部 品質・環境管理課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理計画の作成 ・廃棄物管理状況の把握とリサイクル化の推進 ・処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ・処理等委託契約の締結 ・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ・監督官庁への各種報告 ・社員、関連会社に対する教育、啓発 ・その他関係する事項



別紙2

実績：前年度（2022年度）実績量

計画：今年度（2023年度）計画量

単位：トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項											
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+③)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の④)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑥+⑦)		全処理委託量 (前年度実績値の⑧)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑨)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑩)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)			
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画		
0100燃え殻																						
0200汚泥	361	361	0	0	0	0	2	2	0	0	351	351	351	351	211	211	0	0	0	0	0	0
0300廃油	43	43	0	0	0	0	0	0	0	0	43	43	43	43	9	9	0	0	0	0	0	0
0400廃酸	44	44	0	0	0	0	0	0	0	0	44	44	44	44	44	44	0	0	0	0	0	0
0500廃アルカリ	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	38	38	38	38	38	38	0	0	0	0	0	0
0600廃プラスチック類	164	164	0	0	0	0	0	0	0	0	164	164	0	0	164	164	0	0	0	0	0	0
0700紙くず																						
0800木くず	560	560	0	0	0	0	0	0	0	0	560	560	367	367	560	560	0	0	0	0	0	0
0900繊維くず																						
1000動植物性残渣																						
1100ゴムくず																						
1200金属くず	1687	1687	0	0	0	0	0	0	0	0	1687	1687	0	0	1687	1687	0	0	0	0	0	0
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	3	3	14	14	0	0	0	0	0	0
1400紐さい	33	33	0	0	0	0	0	0	0	0	33	33	0	0	33	33	0	0	0	0	0	0
1500がれき類																						
1600動物のふん尿																						
1700動物の死体																						
1800ばいじん																						
2200管理型重合廃棄物	297	297	0	0	0	0	0	0	0	0	297	297	0	0	297	297	0	0	0	0	0	0
3100廃電気機械器具	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0
3500廃電池類	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	3248	3248	0	0	0	0	2	2	0	0	3238	3238	853	853	3064	3064	0	0	0	0	0	0